

3 家の中の安全対策

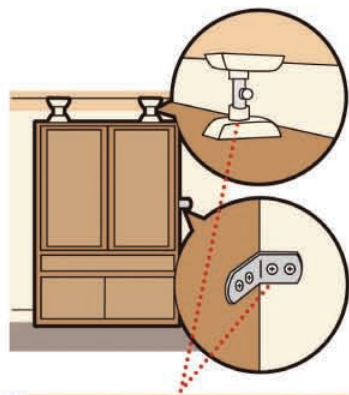
地震や火災から生命や財産を守るために、日頃から自分でできる安全対策をしましょう。

地震対策

■家具の転倒や落下を防ぐ

大地震が発生すると、部屋にある家具が凶器となる場合があります。家電製品が飛んできたり、家具の転倒によりケガをするケースが多発します。家具等を固定するなど、転倒や落下防止の対策をしましょう。

また、背の高い家具の上には物を置かないようにしましょう。



転倒防止器具の使用

■重いものは家具の下に収納する

背の高い家具は重心が高い分、転倒しやすくなります。収納は、重いものを下に、軽いものを上に入れるようにしましょう。

■ガラス等の飛散を防ぐ

地震時の衝撃や転倒時にガラスが割れても飛び散らないよう、窓ガラスや戸棚のガラス部分には、飛散防止フィルムを貼りましょう。また、食器棚については、食器が飛び出すのを防ぐため、扉の開放防止器具を取り付けましょう。

■家具のない部屋で寝る

就寝中の地震を考慮して、寝室にはなるべく大きな家具などを置かないようにしましょう。

■非常持出品を準備する

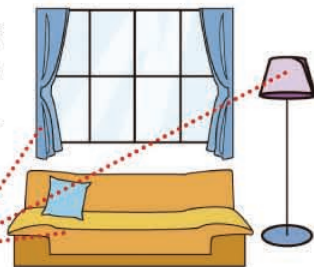
懐中電灯、貴重品などをリュックに入れて、避難時にすぐに持ち出せる場所に用意しておきましょう。



火災対策

■壁材・カーテンなどを耐火性のものにする

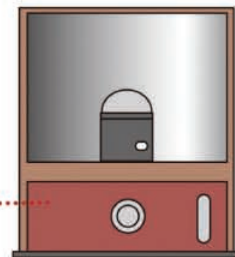
火災や火災の延焼を防ぐために、家の外壁などに防火材を使用しましょう。また、カーテンや家具などもなるべく不燃性のものを使用しましょう。



不燃素材使用

■ストーブなどは自動消火機能のあるものを使用しましょう

ストーブやガスコンロなどは、転倒時や異常高温時に自動で消火する機能のあるものが多く販売されていますので、なるべくそちらを使用しましょう。



自動消火装置付き

共通

■玄関や通路にもものを置かない

避難経路の近くにもものを置くと、避難時に邪魔になったり、逃げ道を塞いでしまう可能性があります。玄関や通路は散らかさないようにしましょう。



散らかさない!